

日本協同教育学会第21回大会が開催されました

2025年9月13日(土)～14日(日) | 名桜大学(名護市)

看図アプローチ関連のプログラム

13日

【ワークショップ】

●「看図アプローチのあわせわざ」

【口頭発表】

●「『ふじた看図アプローチ研究会(ふじかん)』

活動実践報告ー理論と実践の往還に基づいた
看図アプローチによる協同学習実践ー」

●「生成 AI を利用した看図アプローチ職員研
修プログラムの開発・実践ー高校地学の発問
づくり実践講座ー」

14日

【ワークショップ】

●「『見る・語る・問い合う』を拓く看図作文・看
図アプローチの実践ー意味づけを重ねるリ
レー形式の協同学習ー」

【ポスターセッション】

●「高等学校理科における看図アプローチの開
発と実践ー高校理科全4科目における実践の
過程ー」

各プログラムとも、看図アプローチの理論と実践に基づいた充実の発表となりました。「看図アプローチのあわせわざ」WSでは名桜大学の学生さんが、「『見る・語る・問い合う』を拓く看図作文・看図アプローチの実践」WSでは同大教員の方も参加され、「わかりやすく勉強になった」「とても楽しかった」と、看図アプローチの魅力を伝えてくださいました。看図アプローチは教員も学習者も実践を重ねるほどに創造性を高め、見方・考え方を深めていきます。さて、来年はどんなクリエイティブなプログラムが発表されるのでしょうか。楽しみにしていきましょう。



▲上の写真4枚は14日の「ふじかん」によるワークショップの様子…まさに大会テーマの「懐深いやんばるにおける対話と共鳴」を体験できるワークショップでした